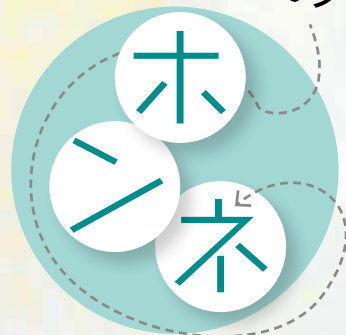


外国人介護福祉士の

日介協では、公益財団法人JKAの補助を受け、外国人介護福祉士候補者の定着に向けて教材を作成するなど、介護福祉士国家試験に対する学習支援を行っています。

本会主催の受験対策講座を受講して、目標である介護福祉士の国家試験に合格し、現在の日本の施設で働く皆さんがどんな気持ちで過ごしているのか本音を教えてもらいました。



インドネシアではできない多くの経験とたくさんの人との出会いを通して介護福祉士としてのやりがいを感じています。

社会福祉法人光風会介護福祉士
ポピ・アルフィアトロフマー

大 学4年生になり就職をどうしようかと考えていた時、

日本・インドネシア経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士の説明会に参加したことがEPAに参加するきっかけでした。

日本で働くということは、家族と離れなければならないので、とても不安がありました。日本にはとても関心がありましたし、日本で頑張ることは良い経験になると思いました。家族にも喜んでもらえると思ひ、両親に許可をもら

いました。

光風会で働き出した当時は、不安で緊張することばかり。職員や利用者様の話す日本語の内容を聞き取ることが難しかったからです。現場では、研修で勉強したことのない言葉もたくさんありましたから、覚えるのが大変でした。

また、インドネシアでは入浴の習慣がないので、入浴介助は蒸し暑くて大変でした。長時間立っている仕事もあり、介護の仕事はとても大変だと感じましたが、職員

の皆さんと協力して助け合いながら働く中、とてもやりがいを感じています。

日本の国家資格である介護福祉士として自信を持つことができたようにになりました。EPAの後輩たちにも、先輩としてわかりやすく教えていきたいと思っています。そして後輩も頑張って合格してほしいと思い、応援しています。

介護福祉士の試験に合格できたこと、主人と結婚して日本で生活することができたこと、インドネシアではできないようなたくさんの経験や出会いがあったことは、夢のようで、光風会の熊谷理事長のおかげと感謝しています。

仕事がつらい時や、体調が悪い時は家族のことを思い出してさびしい気持ちになりますが、主人や友達が励ましてくれるので頑張れます。これからも光風会で皆さんと一緒に頑張りたいと思っています。もしも一度インドネシアに帰ることがあっても、また日本に戻って、光風会で働きたいと思っています。

● Popi Alfiaurohmah
インドネシア・クミンガン出身、28歳。チルボン看護大学卒業。
2008年にEPA介護福祉士候補者第1期生として来日。

施設の入所の皆さんとのふれあいを大事に



ご主人のデデさんと山梨県忍野八海にて



インドネシア人候補者と

日本介護支援協会ニュース

平成 26年0月00日 Vol.44(秋号)

発行所 ● 特定非営利活動法人 日本介護支援協会
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル
電話：03-3261-1066 FAX：03-3261-1061
編集・制作 ● 健康と良い友だち社

定価 ● 500円 (本体価格 463円) 季刊誌 (年4回発行)